

令和2年度 児童発達支援自己評価【職員向け】

公表:令和3年2月9日

事業所名:NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点など	工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・人数によっては狭く感じる為、活動内容を工夫していきます。	
	2 職員の配置数は適正であるか	○			・利用児さんの人数や特性によって、職員の配置を調整しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	○			・今まで以上に換気、消毒を徹底し加湿器や空気清浄機なども設置しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		・その都度検討し改善してまいります。	・行事ごとにアンケートを行っています。
	7 事業所向け自己評価及び保護者向け評価の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・保護者様の評価の結果を踏まえて、職員で話し合いを実施して支援のあり方や改善すべき点を見直していきます。その結果をホームページにて掲載しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9 職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・研修の機会があるが、今年度は新型コロナウイルスにより昨年度よりも研修の機会が減ってしまった。感染対策を行いながらリモートなどを活用し実施していきます。	・今年度より、リモートにて毎月法人で研修会を実施しています。各グループの療育の様子、課題等出し合い検討、報告する時間を設けています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画書を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			

令和2年度 児童発達支援自己評価【職員向け】

公表:令和3年2月9日

事業所名:NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点など	工夫している点
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・グループ担当が作成し、他の職員に確認してもらいアイデアや助言を出し合いながら完成させ実施しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・法人内の研修等により、活動内での新しいアイデアを出し合い、取り入れています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・専門職と連携を取りながら、作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる内容や役割分担について確認をしているか	○			・活動前に打ち合わせを行い、利用児さんがスムーズに活動に参加できるよう役割分担など確認を行っています。
	18 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		・打ち合わせや情報共有で終わってしまう事があります。次回にどのように対応するか等具体的に話し合いを行い、今後活かしていけるようにしていきます。	・毎回打ち合わせの中で、反応や情報共有を行っています。また、保護者さまからご相談された内容も情報共有しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・業務内で記録が記入できるよう業務改善を行っています。	・必ず記録に残すようにしています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・振り返りの中で保護者さまとモニタリング(現状の課題などの確認)を行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加している	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等で、支援内容などの情報共有を相互理解を図っているか	○			・新型コロナウイルスが流行している中、園が受け入れてくださる事で保育所等訪問支援を実施することが出来ました。
	24 移行支援として小学校や特別支援学校(初等部)との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	○			・保育所等訪問支援での情報共有、担当者会議や臨時の話し合いの場などを設定し情報共有をすることが出来ました。
	25 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	27 日頃から子どもの状況を保護者に伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・振り返りの時間を活用して、ご家庭や園での様子などをお伺いしています。その中で課題を確認し、職員間でも情報共有しています。
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			
29 運営規定・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				

令和2年度 児童発達支援自己評価【職員向け】

公表:令和3年2月9日

事業所名:NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ

	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点など	工夫している点
保護者への説明責任等	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画書の同意を得ているか	○			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・ご相談しやすいよう振り返りの際に必ず最近の利用児さんの様子をお聞きするようにしています。必要に応じて別日を設定しじっくりとご相談していただき、場合によっては専門職や関係機関の紹介を行っています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会の等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・今年度は新型コロナウイルスの関係で1回のみ実施となりました。次年度は感染対策を行いながら例年通りに実施できるようにしていきます。	・感染対策を行いながら、事業所で実施することができました。
	33 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・ご相談しやすいよう振り返りの際に必ず最近の利用児さんの様子をお聞きするようにしています。必要に応じて別日を設定しじっくりとご相談していただき、場合によっては専門職や関係機関の紹介を行っています。
	34 定期的に会報等発行し、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月1回お便りの発行や、活動に応じては事前に公式LINEにて発信できるよう工夫しています。
	35 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			・個人情報に記載されている書類等は、破棄する際は必ずシュレッダーを活用しています。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・PECSの活用や電子機器を使いながら伝達できるようにしています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		○	・地域の方々に参加していただけるよう感染対策などを行いながら実施できる方向で計画をしています。	・今年度は感染対策の為、ご招待することが出来ませんでした。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出その他必要な訓練が行われているか	○			
	40 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			・児童票に予防接種の状況を記載する欄を設けています。 ・てんかんの子どもさんなど職員間で情報共有を行い、スムーズに対応できるようにしています。
	41 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○			
	42 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットが発生した場合、記録に残し報告する場を設けています。また、いつでも確認できるようにしています。
43 虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・今年度の研修会はリモートで実施されると案内がありました。研修を受講後、職員に伝達講習を行います。	・虐待防止に関する研修会に毎年参加して、職員に伝達講習を行っています。	

ご協力ありがとうございました。